



脱皮を阻害する

ハマキムシ防除剤

脱皮阻害で害虫ストップ



アタブロン[®] SC

®アタブロンは石原産業(株)の登録商標です。

●有効成分:クロルフルアズロン…10.0% ●毒性:普通物(毒劇物に該当しないものを指している通称)

■アタブロンSCの特長

- 1 ハマキムシ類等の脱皮を阻害し、高い防除効果を発揮します。
- 2 りんご・おうとう・もも・かき・なし・ぶどうに対し、薬害の心配が少なく、安心して使用できます。
- 3 残効性、耐雨性に優れ、高い防除効果を発揮します。
- 4 花粉媒介昆虫や天敵への影響はほとんどなく、なしのIPM(総合的病害虫管理)に適します。

■アタブロンSCの適用害虫および使用方法

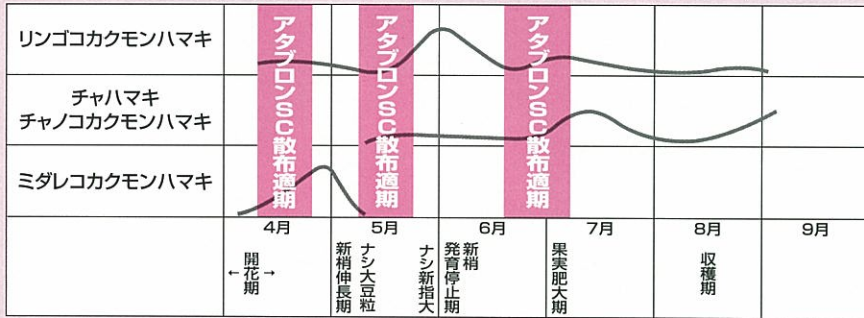
本内容は、平成23年8月30日付の登録内容に基づいています。

作物名	適用害虫名	希釈倍数	使用時期	本剤及びクロルフルアズロンを含む農薬の総使用回数	使用方法
りんご	ハマキムシ類・ケムシ類	3,000~4,000倍	収穫7日前まで	4回以内	散布
	ヨモギエダシャク	4,000~8,000倍			
なし	ハマキムシ類	3,000倍	収穫21日前まで	4回以内	
もも		4,000倍	収穫7日前まで	3回以内	
かき	カキノヘタムシガ		収穫14日前まで		
	カキクダアザミウマ				
おうとう	ハマキムシ類	4,000倍	収穫7日前まで	2回以内	
ぶどう	ハスモンヨトウ				

■アタブロンSCの防除効果と散布適期

アタブロンSCは、各種ハマキムシ類の脱皮を阻害して高い防除効果を発揮します。食毒性で、長い残効性がありますので早めに散布してください。

なしのハマキムシ類発生消長とアタブロンSC(フロアブル)の散布適期



ハマキムシ類(リンゴコカクモンハマキ)に対する防除効果 (日植防研究所(牛久)平成4年)

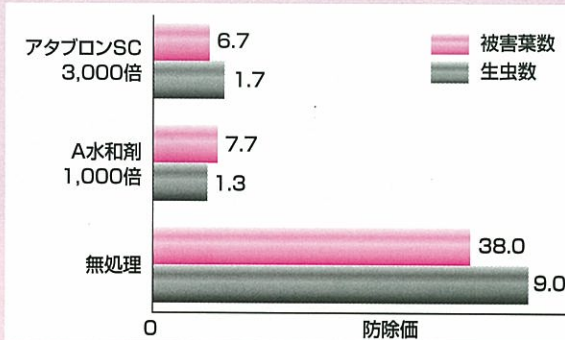
品 種:幸水

発生量:少

散 布:6月22日

調 査:散布14日後に被害葉数と
巻葉内の生虫数(幼虫)を
調査

結 果:対照とほぼ同等の防除
効果を示し、実用性は
ある。



⚠ 使用上の注意事項

1. 散布液調製時には、使用直前に容器をよく振ってください。
2. 本剤は植物体上での移行性がないため、茎葉部表裏に対し均一に散布してください。
3. 本剤は幼虫の脱皮を阻害し、やがて死亡させる性質をもつ薬剤で、通常、死亡するまでに7~10日以上を要するので幼虫期になるべく早く散布してください。
4. 水産動植物(甲殻類)に影響を及ぼすおそれがあるので、河川、養殖池等に飛散、流入しないよう注意して使用してください。
5. 蚕に長期間毒性があるので散布された薬液が飛散し、桑に付着するおそれがある場所では使用しないでください。
6. 本剤の使用にあたっては、使用量、使用時期、使用方法を誤らないように注意し、特に初めて使用する場合には、病害虫防除所等関係機関の指導を受けてください。
7. 使用残りの薬液が生じないように調製を行い、使い切ってください。散布器具及び容器の洗浄水は、河川等に流さないでください。また、空容器等は水産動植物に影響を与えないよう適切に処理してください。
8. 直射日光を避け、食品と区別して冷涼な場所に密栓して保管してください。

●使用前にラベルをよく読んでください。●ラベルの記載以外には使用しないでください。●本剤は小児の手の届く所には置かないでください。●空容器は圃場などに放置せず、3回以上水洗し、適切に処理してください。洗浄水はタンクに入れてください。

本印刷物は平成23年10月時点での知見に基づいて作成しています。